

ほうだつしみずちょう

# 議会だより

平成17年6月8日発行

■発行

石川県宝達志水町議会  
〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1  
TEL (0767) 29-8310 (直通)  
FAX (0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会  
広報編集特別委員会

第1号



## 新町議会の誕生

◆第1回臨時会..... 4

◆第1回定例会..... 6

◆第2回臨時会..... 10

◆議会日誌..... 12



# 新町議会の組織 決まる

## 初代議長に松田眞計氏

## 初代副議長に金田之治氏を選出



右は議長 松田氏、左は副議長 金田氏

宝達志水町発足後、初めての町議会が三月七日、開会され、正副議長をはじめとした議会人事が行われ、初代の議長には松田眞計議員が、副議長には金田之治議員がそれぞれ就任いたしました。

### 正副議長

### 就任あいさつ

新町発足後、初の臨時会において、私たちが議長、副議長の要職に推挙されましたことは、身に余る光栄でありますとともに、その責任の重大さを痛感しております。今後は、職責の重要性を深く認識し、民主的で円滑な議会運営と町政発展に鋭意努力してまいります。

さて、各自治体とも、三位一体改革や長引く景気の低迷により、大変、厳しい状況が続いております。そうした中、宝達志水町の初代町長が選ばれ、議会としても、できる限り執行部との風通しを良くし、行政・

議会・町民が一体となって、新町の建設に全力で取り組んでまいりたいと存じます。どうか、皆さまのご協力、ご理解をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

### 議長 松田 眞計

略歴 議長、総務常任委員長、教育厚生常任委員長、議会運営委員長、合併推進特別委員長、監査委員、広域圏議会運営委員長、体育協会会長など。一期（旧押水十期）。農業。六十九歳

### 副議長 金田 之治

略歴 農建厚生常任委員長、決算特別委員長、水道運営委員長、広域圏議会議員、志雄町観光協会々長など。一期（旧志雄三期）。自営業、六十歳

# 委員会組織など

## ◇総務常任委員会

総務課、情報推進室、企画財政課、税務課、環境安全課、会計課の所管に関する事務並びに他の委員会の所管に関しない事項を審査します。

## ◇教育厚生常任委員会

住民課、健康福祉課、学校教育課、生涯学習課、志雄病院事務局の所管に関する事務を審査します。

## ◇産業建設常任委員会

農林水産課、建設課、上下水道課の所管に関する事務を審査します。

## ◇議会運営委員会

各定例会・臨時会の会期、議事日程、議案の付託の取り扱いや委員会活動等、議会運営に関する基本的事項や議会活動、運営に関する事項等の協議を行います。

## ◇羽咋郡市広域圏事務組合議員

一市三町の広域行政に関する事項（広域消防、なぎさ公園、ごみ処理等の環境衛生、羽咋病院）の協議を行います。

- 議員 中村 建治
- 議員 中橋 弘次
- 議員 北 信幸
- 議員 近岡 義治
- 議員 北橋 俊一
- 議員 畑谷 正

- 委員長 宮城 昌保
- 副委員長 中田 良一
- 委員 岡山 好作
- 委員 中川 信夫
- 委員 金田 之治
- 委員 浜谷 康信
- 委員 塚本 哲雄
- 委員 因幡 栄市
- 委員 中村 建治
- 委員 松田 眞計

- 委員長 守田 幸則
- 副委員長 中谷 浩之
- 委員 岡山 信秀
- 委員 宮本 満
- 委員 林 一郎
- 委員 安達 市朗
- 委員 小島 昌治
- 委員 土上 輝男
- 委員 北橋 俊一
- 委員 中橋 弘次



- 委員長 北本 俊一
- 副委員長 津田 勤
- 委員 岩池 齊
- 委員 川崎 與一
- 委員 岡野 茂
- 委員 畑谷 正
- 委員 浅川 治彦
- 委員 小寺 進
- 委員 北 信幸
- 委員 近岡 義治

- 委員長 中村 建治
- 副委員長 浜谷 康信
- 委員 北橋 俊一
- 委員 中橋 弘次
- 委員 因幡 栄市
- 委員 近岡 義治

## ◇広報編集特別委員会

議会広報の編集に関する協議を行います。

- 委員長 金田 之治
- 副委員長 守田 幸則
- 委員 宮城 昌保
- 委員 北本 俊一
- 委員 中村 建治



# 平成17年 第1回臨時会 3月7日

初議会臨時会では、議会提出議案二件と町長職務執行者から提出された専決条例案、専決予算案百十七件を審議し、すべての案件を原案のとおり可決しました。

## 議会議案

### ◎宝達志水町議会議規則

規則  
標準町村議会議規則に準拠し、宝達志水町議会議規則を制定

(全員賛成)

### ◎宝達志水町議会議事務局設置条例

地方自治法第一三八条第二項の規定により、議会議事務局を設置する。

(全員賛成)

### ◎宝達志水町議会議委員会条例

組織および運営についての基本的な事項に関し、早急な制定が必要であるとの観点から、標準町村議会議委員会条例に準拠し宝達志水町議会議委員会条例を制定

(全員賛成)

## 暫定予算

### (専決処分の報告)

### ◎平成十六年度一般会計暫定予算

歳入歳出それぞれ三十億四千三百万円とするもの。三月(一ヶ月予算)に必要となる予算

(賛成二七人 反対二人)

### ◎平成十六年度国民健康保険特別会計暫定予算

歳入歳出それぞれ二億六千二百万円とするもの。合併前の両会計予算を引き継いだもの

(全員賛成)

### ◎平成十六年度老人保健特別会計暫定予算

歳入歳出それぞれ四億八千万円とするもの。合併前の両会計予算を引き継いだもの

(全員賛成)

### ◎平成十六年度介護保険特別会計暫定予算

歳入歳出それぞれ二億三千七百万円とするもの。合併前の両会計予算を引き継いだもの

(全員賛成)

### ◎平成十六年度国民健康保険直営診療所特別会計暫定予算

歳入歳出それぞれ一千万円とするもの。旧押水町の会計予算を引き継いだもの

(賛成二七人 反対二人)

### ◎平成十六年度下水道事業特別会計暫定予算

歳入歳出それぞれ三億四千五百万円とするもの。旧志雄町の会計予算を引き継いだもの

(全員賛成)

◎平成十六年度水道事業会計暫定予算  
収益的収入六千三百五十三万九千円支出六千七百五十七万三千円、資本的収入九千八百九十五万四千支出七千二百五十七万九千円とするもの。

(全員賛成)

◎平成十六年度下水道事業会計暫定予算  
収益的収入二千五百二十五万九千円支出九千八百六十万八千円、資本的支出八千六百六十六万一千円とするもの。

(全員賛成)

◎平成十六年度国民健康保険志雄病院事業会計暫定予算  
収益的収入八千一百八十五万六千円支出一億一千六十五万四千円、資本的収入二百六十二万六千円支出八千四百三十二万四千円とするもの。

(全員賛成)

## 条例制定案

### (専決処分の報告)

### ◎宝達志水町役場位置条例他159件の制定

両町において制定された条例を宝達志水町の条例として制定したもの。

(賛成二七人 反対二人)



# その他

(専決処分の報告)

◎羽咋郡市公平委員会への加入

職員の勤務条件等に関する審査、判定、不服申立て等を行う同委員会に、三月一日付けで加入したものの。

(全員賛成)

◎字及び小字の区域並びに小字の名称の変更

大海川尻地内の一部を北川尻とし、その小字を平仮名に変更したものの。

(全員賛成)

◎宝達志水町指定金融機関の指定

北国銀行を本町の指定金融機関としたもの。

(全員賛成)

◎かほく市営バス運行施設整備の区域外設置

かほく市営バスのバス停留所を本町の一部区域に設置し、運行させるもの。

(全員賛成)

◎かほく市営バス事業押水・宝達線運行に関する事務の委託について

かほく市営バスの区域内運行について、かほく市に事務委託するもの。

(全員賛成)

◎地方公共団体の特定の郵便局における取扱に関する協議について

宝達郵便局に住民票写しの交付、印鑑登録証明書の交付、納税証明書の交付の取り扱いをさせるもの。

(全員賛成)



◎羽咋郡市広域圏事務組合を組織する地方公共団体の数の増減(廃置分合)に伴う規約の変更について

宝達志水町の誕生に伴い羽咋郡市広域圏事務組合規約を変更するもの。

(全員賛成)

◎地方公共団体の特定の郵便局における取扱に関する協議について

押水郵便局に住民票写しの交付、印鑑登録証明書の交付、納税証明書の交付の取り扱いをさせるもの。

(全員賛成)



## 議案に対する

## 質疑

## 応答

**問** 平成十六年度一般会計暫定予算において議会食糧費五十万円となっているが何に使つのか。

**答** 宝達志水町が開町したことは、議会も執行部も町民にとっても歴史的なことである。盛大な祝宴は出来ないが、議会と幹部職員の間合わせを考えている。また、各委員会等の開催があると思われるのでその費用を計上した。

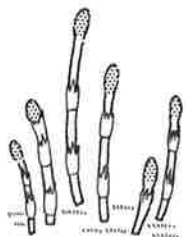
**問** 国民健康保険直営診療所特別会計暫定予算において国民健康保険特別会計からの繰入となっているが、病院や診療所への繰入は一般会計から繰り入れることは出来ないのか。

**答** 診療所は1年しか経過していないので、平成十六年度は、国民健康保険特別会計から繰入する考えであります。また病院会計は企業会計方式であり基本的には独立採算であります。繰り出しがあるとするれば一般会計からの繰り出す考えであります。診療所も病院も同じ国民健康保険の直営であるので、新年度において繰り出しを要する場合は、一般会計が適当であると思う。

## 臨時議長は 土上輝男議員



初議会では、まだ議長が選ばれていないので、当日議場に出席している議員のうち最年長の議員が、臨時議長として議長の職務を行うこととなっています。この臨時議長により、仮議席の指定、議長選出が行われました。



平成17年

# 第1回 定例会

3月25日

## 一般会計暫定予算他 8会計の暫定予算を可決



中西町長職務執行者

### 予算編成方針

平成十七年度の暫定予算として、四月から六月までの三ヶ月分を計上

#### ◎一般会計

歳入

十七億二千四十二万円

四月から六月までの収入

が見込まれる町税や交付税

を計上

歳出

二十億七千四百四十四万円

義務的経費・經常経費を計上（暫定予算では歳入と歳出が同じでない場合があります）

○最近多発している学校への不審者侵入に備え、すべての小中学校に防犯カメラを設置する経費（三百八十八万五千元）

○四月十七日に開催されるさくら祭りは、新町が発足して最初のイベントであり、町民の融和を図るため盛大に実施したいので通常より多い補助金を計上（五百五十万円）

（賛成二六人 反対二人）



17年4月さくら祭り

◎平成十七年度国民健康保険特別会計暫定予算

歳入 二億二千三百二十

一万六千元

三ヶ月間に見込まれる国保税や療養給付に係る国庫負担金などを計上

歳出 四億四千七百五十

一万三千元

保険給付費、老人保健拠出金などを計上

（全員賛成）

◎平成十七年度老人保健特別会計暫定予算

歳入歳出それぞれ五億百

十六万七千円とするもの

三ヶ月間に見込まれる医療給付費をもとに、規定の

割合により支払基金交付金、

国庫負担金、県負担金、一

般会計繰入金を計上

（全員賛成）

（全員賛成）

◎平成十七年度介護保険特別会計暫定予算

歳入 三億二百一十三万

四千元、歳出 三億三百三

万五千元とするもの

三ヶ月間に見込まれる居

宅介護サービス及び施設介

護サービスの給付見込額を

もとに、規定の割合により、

支払基金交付金、国庫負担

金、県負担金、一般会計繰

入金を計上

（全員賛成）

◎平成十七年度国民健康保険直営診療所特別会計暫定

予算

歳入歳出それぞれ二千二

百七十九万七千円とするもの

三ヶ月間に見込まれる施

設費の見込額をもとに、診

療所費、手数料、一般会計

からの繰入金を計上

（全員賛成）

（全員賛成）

◎平成十七年度下水道事業特別会計暫定予算

歳入 九百三十二万九千

円

三ヶ月間に見込まれる下

水道料金や受益者負担金を

計上

歳出 一億六千七百四十

三万四千元

職員人件費や処理場の維

持管理費のほか、一部工事

費等を計上

（全員賛成）

◎平成十七年度下水道事業会計暫定予算

収益的収入 五千八百八

一万五千元、支出 四千八

百九十五万二千元

収益的収支は、三ヶ月間

に見込まれる給水収益など

営業収益に対して、原水及

び浄水費並びに配給水費等

の営業費用を見込んだもの

資本的支出一千六百三万

五千元

老朽管敷設がえに伴う舗

装本復旧費を計上

（全員賛成）

◎平成十七年度下水道事業会計暫定予算

収益的収入 七千九百八

万六千元、支出 五千九百

二十二万一千円

三ヶ月間に見込まれる下

水道使用料及び他会計補助

金、処理場の維持管理費を計上

資本的収入 五千三十万円、支出 七百三万五千元  
借入金等、一部必要な設備工事費を計上

(全員賛成)

予算以外に審議した案件

○石川県市町村職員退職手当組合規約の変更について

配置分合及び解散に伴い、規約の変更をするもの

(全員賛成)

【選挙管理委員会委員の補充員の選挙】

角井 淑昭氏(正 友) 七十一才

久保 實氏(所司原) 五十四才

高崎 進氏(冬 野) 五十七才

木村 輝男氏(子 浦) 六十三才

(賛成二六人 反対二人)

(順位順)

(賛成二六人 反対二人)

(全員賛成)

○石川県農業信用基金協会の会員となることについて

農業信用保証保険法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの

(全員賛成)

【選挙管理委員会委員の選挙】

坂口 弥八氏(見 砂) 六十六才

菅山 清作氏(上 田) 八十才

荒川 静枝氏(南吉田) 七十一才

砂山 毅氏(柳 瀬) 六十四才

(全員賛成)

【農業委員会委員の推薦】

(議会による推薦)

赤池 興氏(上 田) 六十一才

太田 隆氏(免 田) 六十四才

中村 正樹氏(小 川) 七十二才

豊田 清彦氏(菅 原) 六十六才

(全員賛成)

討 論

平成17年度 暫定予算案について

小島議員

(要旨)

ごみの収集運搬委託費用がこれまでどおり余りにも高く見積もられています。この改善をするだけで旧押水町民が現在高いごみ袋を購入しているような体制を旧志雄町と同じように役場からの支給という形に合わせる事ができるのであります。

志雄・押水の合併協議会は、負担は低い方に、サービスは高い方にあわせようと進められたはずである。ごみの収集運搬委託費をきちんと正すことを要求し、反対討論とするものです。

その他の平成17年度暫定予算には賛成する。



守田議員

開会に先立ち、石川県町村議会議長会から、浅川議員と守田議員に感謝状が伝達されました。



浅川議員

# 町政を問う

# 質問 いっぱん



岡山 信秀 議員

## 新設された情報推進室、環境安全課の業務内容について

**問** 三月一日より、町機構の中で新設された「情報推進室」「環境安全課」の業務内容について詳しく説明を願いたい。

活動の充実強化のために、情報推進室を立ち上げたものです。

**答** 町長職務執行者

情報推進室を設置する主たる目的は、電子自治体の構築を目指すためです。

業務の主な内容は、ペーパーレス等、時代のニーズに即した事務処理の推進・宝達志水町という町名を一日も早く全国に周知してもらうための情報発信の促進・住民のニーズはどこにあるかということの的確に把握するための公聴活動、広報

環境安全課は、安全で安心して暮らせる快適な地域社会づくりをめざして、当時に中野町長さんとも相談を重ねて、独立したセクションにしたものです。仕事の主たるものは、危機管理体制の確立ということで、環境衛生の充実、防災、消防、防犯、交通安全などです。

## 農林水産課、建設課について

**問** この2課は常に工事現場を持つ課であり、工事施工計画を立てる上で連携が必要と思われるが、それぞれ押水庁舎、志雄庁舎に分かれていて、建設課においては、課長、補佐、主任クラスが全て異動しているが、今後、地籍調査や完成検査に支障がないのか。又、区長さんや町民に不便を来さないのか。両町の制度や環境が違った職員は、配置されることにより、何かと戸惑うこともあるのではないか。

**答** 町長職務執行者

農林水産課では地籍調査に限らず、ほ場整備事業も旧志雄地区に残っているの志雄庁舎に配置した。完成検査や継続的なことについて支障がないのかというご懸念ですが、人事異動をすれば若干の停滞は避けられないが、職員の資質向上のためにはできるだけ多くのセクションを体験して行政に精通していただきたいので、各職員の能力適正を考慮したうえで適材適所の人事異動を行った。将来的に支障があれば必要な調整はいつでも行う。

**再質問** 農林と建設の人事

の配置のことですが、長に与えられた権限なのでどうこういうつもりはない。確かに人事交流は必要だが、環境や制度の違い、課長、補佐全てがかわったとき、合併して混乱が起きるようなときに、こうした体制で今後、災害などが起きたと

きとかに住民や区長さん方に心配をかけないのかを特に懸念している。梅雨を迎え、大雨などで例年災害が起きています。災害の状況によっては、経験のない職員は初動体制を取れないのではないかと心配をしているわけです。なれない課や仕事であるうかと思えますが関係課長さん方には頑張っていたいただきたいと思います。



16年7月 聖川地内



17年5月 水防パトロール (子浦川防災ダム)





小島 昌治 議員

### ごみの収集運搬について

**問** 可燃ごみの収集運搬委託費用と収集量について、平成十五年度と平成十三年、旧押水町・旧志雄町別に、教えてください。次に収集運搬委託業者の選定はどのように行われているのか、近辺の他の市町村と比べて収集運搬委託費は高いのか安いのか、その理由と改善策について答弁いただきたい。

**答** 町長職務執行者

この地域の町民が出されるごみは、地域の業者の方が収集され運搬されるのが望ましいという考え方を持っています。町民税の賦課徴収の観点からも、雇用の問題からも、誠意を持って



リサイクルセンター（羽咋市）

収集・運搬に当たる地元業者を優先的に指名するのが適当だと思っております。又、地域振興、地域経済発展のために地元業者を優先すべきだという趣旨の財務規則改正等も行ったりいたしております。

**答** 環境安全課長

可燃ごみ収集運搬委託費用は、旧押水町では平成十五年度は一千五百七十五万円余り、平成十三年度は一千五百四十一万円余りでした。旧志雄町におきましては、可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ等を一括して業務委託しているため、可燃ごみだけの委託業務費用は把握できませんが、旧志雄町全体のごみ収集委託費用につきましては、平成十五年度は二千九十九万円余り、平成十三年度は、一千三百二十七万円余りです。

可燃ごみ収集量は、旧押水町では、平成十五年度は一千六百六十八・三四トン、平成十三年度は、一千四百三十一・六一トン。旧志雄町は平成十五年度一千二百一十三・九二トン、平成十三年度では一千三百八十七・〇二トンです。

入札参加条件は、宝達志水町に競争入札参加資格審査申請書を提出し、受理された者であることと、一般廃棄物収集運搬業の町長の



石川北部RDF（志賀町）

許可の二点が必要な事項です。ごみ収集運搬委託費の他市町との比較ですが、契約による可燃物、資源ごみなどの収集委託の仕様書の内容が統一されておりませんので、正確に把握はできません。平成十五年度の総数量と平成十六年度における契約額では、ごみ収集委託契約に係るトン当たりの契約高は、羽咋市は、九千六百一十一円、志賀町は一万二千八百三十円、富来町は一万九千八百二十四円、本町は一万一千四百六十八円となっております。

**再質問**

私が作成した内灘町から羽咋市までの収集運搬費用を調べた資料によると、ごみ一トンあたりに係る収集費用では、各戸収集をしている津幡町の約3倍の費用を、ステーション方式の旧押水町がかけています。

同じ業者が河北郡内で多く委託をうけていることを考えても収集費用が懸かりすぎなのではないか、早急にこの改善が求められるのかどうかお聞きしたい。

**答** 町長職務執行者

平成十五年度が千六百六十八トンであることを見ても量は多くない。割高であるという印象を受けるが、これは自治体の面積の違いにより、効率的な収集ができているかもしれない。平成十七年度に十分審議して、改めるところは改めて行きたいし、改善するところがあれば積極的に改善を図りたい。

**再々質問**

決意のほどをもう一度述べていただきたい。安ければいいと言うことではない。企業の再生産は大切なので、そういうことも含めて考えなくてはならないが、収集運搬費用は異常に高い。そこを改善した予算というものはあるはずではないか。

**答** 町長職務執行者

精査してみる必要があると思う。地理上の問題、面積、量、運搬頻度、時間、回数、時間帯など十分調査し、改善すべき点があれば次の新町長が判断されると思う。



平成17年  
**第2回臨時会**  
 5月9日

**町長施政方針表明**

**(要旨)**

新生「宝達志水町」初代町長として、一言ご挨拶を申し上げます。

去る四月三日に行われまして宝達志水町長選挙において、皆様方から大変温かいご支援をいただき、晴れて当選の栄に浴することができました。ここに新生

「宝達志水町」の初代町長として、町政を担当させていただくと言うことは、誠に光栄であり、また、ことの重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、互助の精神を旗印に、地域の総力を挙げて取り組みました今回の二町合併も、その道のりは決して平坦とは言えず、むしろ、山あり谷ありの連続と言う厳しいものであります。

しかし、二年間にわたる合併協議の結果、ここにてたく対等合併がなり、「宝達志水町」を創り上げることができましたことは、これひとえに議員各位を始め、町民の皆様方のご協力の賜と、心より感謝申し上げます。

旧押水町と旧志雄町が営々と築き上げて参りました有形無形の文化と暮らしは、宝達志水町の未来と希望の糧であり、明るく活力ある地域づくりの土台となるものであります。

私は、今後共、それぞれの地域の特性を活かし、特

色を伸ばすことにより、「合併して良かった」と言われるまちづくりに取り組んで参りたいと思います。



さて、かねてより私は、今回の合併の目的は単に規模拡大を求めるのではなく、地域の特性にマッチした、時代の変化にあった仕組みづくりであると主張して参りました。

我々、地方自治体を取り巻く環境は、三位一体の改革に代表されるように、急激に変化したしております。そこで、これからの行政運営においては、この激変す

る環境に即応できる仕組みに、いかに行政として素早く切り替えることができるかが、これからの厳しい時代を乗り切るポイントであると考えております。

私は、このような認識の基、合併がなった今、『宝達志水町イズムの実践』をキャッチフレーズに、自ら新たな仕組みを創造し、「町民参加」と「改革」を進め、自主自立のまちづくりを実践して行きたいと考えておりますので、議員各位を始め、町民の皆様、関係者の方々の今後、益々のご指導とご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

宝達志水町は、去る三月一日に「水と人が奏でるハーモニーの町」を目指して、既にスタートを切っておりますが、今後は、合併協議を経て決定されました「まちづくり計画」を基に冒頭にも申し上げましたように、全ての町民が、合併して良かったと実感できるまちづくりを進めていかなければ

ならないと考えております。また、特に、私の今任期は、合併したことによって町民の皆様が不都合な思いをすることがないように、十分に配慮しながら、町民同士との融和を図り、新町の一体感を築くことが何よりも大切と考えており、地域の歴史や文化、個性や特徴を損なうことなく、「小さくてもキラリと光るまちづくり」を進めて参りたいと考えております。

私は、この宝達志水町の発展のため、新町建設計画の実現に向けた施策方針として、次の「七つ」の柱を掲げ、取り組んで参ります。



① 「利用者の視点に立った生活基盤の整備」

・ 国道バイパスや広域農道などの広域幹線道路網の整備

・ 生活道路やデマンドタクシーを始めとする公共交通網の積極的な整備

・ 光ファイバーケーブル情報網を活用し、ケーブルテレビ放送の導入や携帯電話の不感地帯解消

② 「産業振興の積極的な支援」

・ 若者に働く場所を提供するために企業誘致を積極的に進める

・ 新産業の創出のためのベンチャー企業や地元企業の積極的な支援

・ 農業の新たな担い手の育成と農業ビジョンの積極的な支援、総合中山間地域対策事業への取り組み

・ 山、川、海の恵まれた自然、歴史、文化遺産を大切にした観光資源の整備

・ グリーンツーリズムの積極的な推進

・ 都市と農山村の新しい関係を構築し、滞在型観光を育成



15年8月 オーストラリアにて

③ 「地域が一体となって支える健康・福祉のまちづくり」

・ 町民の健康づくり、生涯スポーツの育成と活動支援

・ 志雄病院と押水クリニックの密接な連携による地域密着型の医療の展開と安全な医療の提供

・ 延長保育や乳児保育、学童保育などの各種サービスの充実

・ 在宅介護の支援強化

④ 「学力、体力、豊かな心をはぐくむ教育の実現」

・ これからの宝達志水町を担う青少年の教育、人材の育成

・ ふるさとの歴史、文化、自然を学ぶ教育の推進

・ 国際理解を深めるための国際交流活動の積極的推進



石川県立宝達高等学校

⑤ 「情報公開と説明責任の徹底」

・ 町民の声が十分に反映されるガラス張りの行政の推進

⑥ 「町民の広域的ニーズに対応できる広域行政の積極的な推進」

・ 現在の羽咋郡市広域圏事務組合の運営に際し、構成市町のさらなる一体感の醸成に取り組む

⑦ 「行財政改革の積極的な推進」

・ 行財政改革大綱の策定

・ 各種補助金等の見直し

・ これからの四年間、「押水・志雄の地域に根ざし、この地域に生きる私たちが、力を合わせ、この地に本来に必要な行政施策を行い、この地にあるものを活かすこと」をスローガンとした宝達志水町イザムのもと、町民の皆様からいただいた信頼と大きな期待をしっかりと受け止め、宝達志水町発展のため、職員一丸となって取り組む所存でありまして、議員各位におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます、町長就任のご挨拶をもって私の施政方針表明とさせていただきます。

・ 行財政改革大綱の策定

同意

【監査委員の選任】

代表監査委員 津田 達氏 (上田出) 六十八才

議会選出

中川 信夫氏 (子 浦) 五十六才 (全員賛成)

【固定資産評価委員会 委員】

河原 秀次氏 (河 原) 七十才  
食品製造業  
南 達雄氏 (荻 島) 五十九才  
会社員  
角 又喜氏 (今 浜) 五十五才  
不動産業 (全員賛成)



16年8月 フィンランドにて

【固定資産評価員】

太田 永作氏 (免 田) 五十二才  
税務課長 (全員賛成)

【教育委員会委員】

田端 武正氏 (宿 ) 六十七才  
元押水町教育長  
坂本 貞夫氏 (荻 市) 六十一才  
元志雄町教育委員

寺谷 良一氏 (北川尻) 七十四才  
会社役員

側垣 二也氏 (菅 原) 四十八才  
児童養護学園長

中村 等氏 (荻 谷) 七十一才  
元志雄町教育長 (全員賛成)



宝達志水町立樋川小学校

# 町議会日誌

3月  
5月

## 【3月】

1日 開町式



4日 宝達高校卒業式  
7日 議会臨時会  
12日 押水中学校卒業式  
15日 志雄中学校卒業式



17日 議会運営委員会  
18日 広域圏議会運営委員

会

各小学校卒業式

23日 広域圏議会臨時会

24日 渚会理事會

25日 議会全員協議会

議定例会

30日 議員公務災害補償組

合議会

町村議会議長会臨時

総会

## 【4月】

5日 各小中学校入学式

8日 羽松高校入学式

宝達高校入学式

11日 青少年国際交流推進

実行委員会

12日 町村議会議長会定期

総会

郡町議会議長会総会

17日 桜まつり

20日 区長会総会

22日 国民健康保険安定化  
推進委員会



町民センター アステラス

23日 宝達山開山祭



24日 町ゴルフ協会設立総

会

27日 広域圏議会運営委員

会

押水商工会総代会

## 【5月】

9日 議会全員協議会

議会臨時会

10日 志雄商工会総会

15日 千里浜ちびっこ駅伝



17日 施設管理公社理事會

18日 自衛隊父兄会宝達志

水町支部設立総会

19日 青少年国際交流推進

実行委員会

20日 土地開発公社理事會

施設管理公社理事會

22日 県議会議長就任祝賀

会

24日 広報編集特別委員会

議会運営委員会

26日 渚会理事會

27日 例月出納検査

能登空港利用促進同

盟会総会

28日 郡市建設業協会創立

50周年記念式典

# 議会を傍聴しませんか

6月 定例会

一般質問 6月17日(金) 10:00~  
場所: 志雄庁舎2F大集会室

町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っていただくために、議会の傍聴をお勧めします。傍聴手続きは、当日、議場の入り口で簡単に出来ます。つぎの議会は6月定例会です。気軽にお出かけ下さい。

■ 問い合わせ先 議会事務局 TEL 29-8310

## 編集後記

宝達志水町の誕生により議会も確実に変化し、本当の意味での改革に向かって前進しなければなりません。多くの皆さんに議会活動を理解いただくため広報を出すことにしました。

「議会だより」の創刊にあたり、町民の皆さんに読みやすく分かりやすい紙面とするよう編集に努力し、年四回開催される定例会ごとに、その内容を中心として発行することにしました。なお、皆さんのご意見・ご感想・お気づきの点がありましたら、委員会までお寄せ下さい。

### 広報編集特別委員会

- 委員長 金田之治
- 副委員長 守田幸則
- 委員 宮城昌保
- 委員 北本俊一
- 委員 中村建治